

第51回盛岡芸術祭華道展に華道部が出品しました

令和4年5月14日（土）・15日（日）マリオス展望室

今年度も、草月流の先生のご指導をいただき、3年生3名が出品しました。作品、生け込み風景写真と生徒の感想をご覧ください。

春の朝

3年 小笠原朱里

作品を制作するにあたってどの角度から観ても美しく見えるように、そして今まで試行錯誤して生み出してきた、自分なりの表現を意識できたと思います。また、淡い水色の花器と全体的に淡い暖色の花材を使ったことで春の暖かな雰囲気と朝のような爽やかさを表現しました。

これからも生ける際には、基本の型を大切にしつつも自分らしさを大切にしていきたいです。

最後に、この作品を出展するにあたってご指導して下さった先生方、支えてきてくれた華道部の皆さんにこの場を借りて感謝申し上げます。



花材：キキョウラン、ガーベラ、
カーネーション、カスミソウ、
君子欄、ワイヤー

まっすぐに

3年 折戸 舞

この度私は、初めて公の場に出展させていただきました。会場では緊張しましたが、先生のお力を借り、自分の納得のいく作品を生けられたと思います。

この作品は、色づかいを特に工夫しました。黄緑と黄色で爽やかな雰囲気を出し、ポイントとなる白をバランスよく配置することを意識しました。また、ドウダンツツジを中央にのびのびと生けることで、解放感を表現できたと思います。

この場で日頃の成果を発表できたこと、とても光栄に思っています。芸術祭の開催にあたり、尽力下さった皆様や、先生方、華道部の仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



花材：ドウダンツツジ、カラー、
オンシジウム、カーネーション



笑って

3年 野場 友海

この作品の題名「笑って」は、私の好きな曲の歌詞からとりました。向かってくる困難にも負けず、明るく笑っていこうという思いを込め生けました。

太藷は困難を表して、折れ曲がる姿がどこから見ても面白く感じるように気をつけました。アルストロメリアとサンダーソニアで困難の中でも明るく凛々しくいられるようにという気持ちを表し、それが伝わるようにと意識しました。

最初で最後の、展示会への出品となりましたが、支えてくださった先生方、同級生、後輩のおかげで満足の行く作品を完成させることが出来ました。本当にありがとうございました。



花材：太藷、サンダーソニア、
アルストロメリア



生け込み時は2年生が3年生の補助をすることで、花展で生ける緊張感を感じることができ、来年度出品するために1年間の部活動を頑張ろうと心新たにすることができました。